

登録コード	MA760502	開講年度	2026			
授業科目名	理学療法学特別研究				担当教員	西澤 公美
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Physical Therapy				副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限・不定期		対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	必修科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。				学際的な観点で問題を解決するための研究を実施できる。	
(2)授業の概要	共通科目, 先端理学療法学特論および演習, その他領域の特論で修得した理論と技術に関する実践的な研究を研究法や運動器・スポーツ理学療法学演習で学んだ研究方法論の知識に基づいて展開する。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	1）先行研究の講読を通して研究計画を立案する。 2）研究計画に基づいて, データ収集, データ解析, 統計解析を行なう。 3）先行研究を参考にして, 研究結果を考察する。 4）研究活動の結果を研究論文としてまとめる。 5）研究論文の概要をプレゼンテーションする。 これらのことができるようになる。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1）研究計画に基づいた研究活動を展開する。 2）研究活動の結果を研究論文やプレゼンテーションによって発表する。 これらのことができるようになる。					
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが, 項目ごとに複数回の指導時間に加え, 相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1 自己の研究に関する先行文献の検討を行う。 2 研究テーマを設定する。 3 研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4 倫理審査を受審し, 承認を受ける。 5 データ収集・分析を行う。 6 学位論文をまとめる。 7 研究成果のプレゼンテーションを作成する。 8 学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する。					
(6)授業の進め方	研究課題の設定, 研究計画の立案と遂行, 博士論文の作成という一連の研究活動を指導教員の助言・指導のもとで行う。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	指導教員と相談しながら, 研究活動を進める。 毎回の授業内容の欄に, 教科書や副読本で予習しておくべき個所を指定する。 web会議システムによる遠隔授業や研究指導を行う場合は, 事前にアクセスID / パスワードを通知する。					
(8)成績評価の方法	学位論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価します。 学位論文やプレゼンテーション資料が十分に作成されている（30%） 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し, 明確に説明できている（30%） 研究内容について提起される質問に対して, 論理的に説明できている（20%） 研究の将来展望について論述できている（10%） 当該研究分野に関する最先端の知識を有している（10%）					
(9)成績評価の基準	学位論文において (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問, 相談への対応	臨床的な疑問に対する科学的かつ倫理的妥当性のある研究活動を展開できるよう, 主体的な学習に取り組んでください。 相談への対応: 西澤 公美 hitnishi@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー: 随時（要連絡） 場所: 南校舎4階西澤研究室					
【テキスト, 教材, 参考書】	適宜, 紹介する。					